



NPO法人 京都中途失聴・難聴者協会東山支部

京都市要約筆記サークル「かたつむい」東山区会員・京都市東山区社会福祉協議会

要約筆記体験と中途失聴・

難聴の方のコミュニケーション



～聞こえない、聞き取りにくい方とうまくコミュニケーションがとれるよう一緒に考えませんか～

日時：**2019年2月16日（土） 13：30～15：30**

聞こえない、聞こえにくさを感じてコミュニケーションで困っていることや、仕事・生活の場で困っていることを出し合いながら共感できればと思い交流会を行います。コミュニケーション方法の一つである要約筆記体験も行います。聞こえにくい方の接し方や会話する時のヒントを学んでみませんか。難聴者の方も、中途失聴者の方も、要約筆記に興味がある方どなたでもご参加ください。

募集対象 聞こえやコミュニケーションの問題に関心のある方、聞こえない方、聞こえにくい方

内容 ☆中途失聴・難聴者の体験談／聞こえにくい方に接するとき 役立つこと
☆要約筆記について
☆要約筆記の体験／ノートテイクの練習
☆交流会（聞こえない、聞こえにくい方たち、要約筆記体験者との交流）

場所 やすらぎ・ふれあい館（五条坂バス停から1分）
〒605-0863 京都市東山区五条通大和大路東入5丁目梅林町576

定員 20名（先着）

無料

申込 ハガキ、またはFAXに「要約筆記体験教室」と明記し、①名前（フリガナ）

②電話番号③聞こえの状況をご記入の上、下記までお申込ください。電話でも受付します。

社会福祉法人 京都市東山区社会福祉協議会 担当：森・西田

電話 551-4849・FAX 551-4858



☆この取り組みは東山区共同募金会からの助成を受けて実施します。

☆要約筆記とは☆

聞こえない方、聞こえにくい方に話の内容を書いて伝える方法です。
要約筆記は、話ことばを要約して文字で表し内容を伝えるものです。
大勢のときはOHCという機器を使ってスクリーンに映します。
個人の場合はペンと紙を使って要約筆記(ノートテイク)で伝えます。
この教室では、このコツを体験していただきます。

OHC で書いて
映します



筆談
(ノートテイク)

NPO 法人京都市中途失聴・難聴者協会

病気・薬害・事故・騒音・老化等が原因で、途中で聴力を失われた方や難聴の方に対して、社会参加の促進や福祉の向上をめざして事業に取り組んでいます。
また、要約筆記記者の養成講座(基礎～応用)、難聴講座、相談事業、そして、旅行やサークル活動等のレクリエーション事業も行っています。

京都市要約筆記サークル「かたつむり」

要約筆記養成講座を修了して、毎月例会で「速く・正しく・読みやすく」を学習しています。
京都市中途失聴・難聴者協会とともに、聴覚障害関係の諸団体と連携して、難聴者の豊かな暮らしのために、社会啓発を目指しています。

耳マーク

耳の不自由な方からこのマークを見せられたら、書いて伝えたり、ゆっくり大き目の声でお話したりするようお願いいたします。



会場



連続講座のご案内

★聴覚障害の理解のために連続講座

手話入門講座

2月1日(金)、4日(月) 18:30~20:30

★障害者の理解を地域でどう広げるか

デイ銭湯公開講座

3月2日(土) 14:00~16:00

★視覚障害者手引き講座

視覚障害者ボランティア「スキップ」公開講座

3月12日(火) 13:30~15:30